

輪舞 (1964)

LA RONDE
CIRCLE OF LOVE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス/イタリア

色彩 Color

時間 111分

初公開日 1964/12/26

公開情報 ヘラルド

【解説】

シュニッツラーのウィーン情緒溢れる名作の舞台をパリに移して（愚行）の二度目の映画化。当然のことながらオフェルス作品とは比較にならない。以下、キャストの対比。娼婦=M・デュボワ、兵隊=C・ジロー、小間使い=（彼女はよかった）A・カーリーナ、若主人=J=C・ブリアリ、人妻=J・フォンダ（いささか品がない）、夫=M・ロネ、売り子=C・スパーク、詩人=B・ノエル、女優=F・ベルジュ、士官=J・ソレル。ドカエの撮影もカラフルでそれなりに楽しめると言えばそれまでだが、どうしても前作のウィーンでしか成り立ちえないしっとりした味わいの、どこもない陰りを思い出せば、溜息をついてしまう出来の、R・ヴァディム監督作。

【クレジット】

監督	ロジェ・ヴァディム	Roger Vadim	
製作	ロベール・アキム	Robert Hakim	
	レイモン・アキム	Raymond Hakim	
原作	アルトゥール・シュニッツラー	Arthur Schnitzler	
脚本	ジャン・アヌイ	Jean Anouilh	
撮影	アンリ・ドカエ	Henri Decae	
編集	ヴィクトリア・メルカントン	Victoria Mercanton	
音楽	ミシェル・マーニュ	Michel Magne	
出演	マリー・デュボワ	Marie Dubois	娼婦
	ジェーン・フォンダ	Jane Fonda	ソフィー
	ジャン＝クロード・ブリアリ	Jean-Claude Brialy	アルフレ
	アンナ・カーリーナ	Anna Karina	ローズ
	モーリス・ロネ	Maurice Ronet	アンリ
	クロード・ジロー	Claude Giraud	ジョルジュ
	カトリーヌ・スパーク	Catherine Spaak	少女
	ベルナルド・ノエル	Bernard Noel	作家
	フランシーヌ・ベルジェ	Francine Bergé	マクシミリエンヌ
	ヴァレリー・ラグランジェ	Valerie Lagrange	
	マリナ・ヴラディ	Marina Vlady	
	ジャン・ソレル	Jean Sorel	